

はじめに

「プチ移住」という言葉になんとなく憧れませんか？

旅行やロングステイとはちょっと違うとてもよい響きをもっています。私の場合は、出張や赴任で訪れたタイのシラチャという街に惚れ込み、2005年の帰国以降、80回ほどのプチ移住（1回は1週間から3週間）を続けてきました。

本書の内容は、私の経験から、そのシラチャの街とゴルフ好きの仲間の話を例にとって多くの紙面を割くこととなりますが、本書を書くに至った動機は、私のプチ移住経験から人生最高の楽しみ方の1つのヒントをできるだけ多くの方にお伝えしたいという気持ちに至ったことです。

海外を渡り歩いた多くの友人が、私と同じような考えでプチ移住地を求めています。

- (1) 閉塞的な日本、悲観的なニュースに振り回される日本、「井の中の蛙」になってしまったガラパゴス日本、そこから飛び出す時間が欲しい。
- (2) 亜熱帯化し自然災害が多くなった日本の夏や、寒さで活動

が制限される日本の冬は、健康づくりに適さない。この時期の日本を避け快適な生活ができる場所で過ごしたい。

(3) 楽しい仲間と共通の趣味を楽しむ合宿のような若返りの時間を持ちたい。

皆さんもこんな気持ちになったことはありませんか？

私も世界各地へ出張に行ったり格安のツアーを探し家族旅行したりして、各地でおいしいものも食べてきました。でも、人生の最高の楽しみ方は、スケジュールを決められたそんな旅行ではないかもしれません。

映画『最高の人生のを見つけ方（原題：The Bucket List）』を見られたことはありますか？

がんで余命期間を宣告された大金持ちが、隣のベッドにいた希望を失ったまじめな男と人生について語るころから始まります。それがきっかけで世界の国々を次々と旅していく物語です。

この映画で、
「最高の相棒に恵まれることが人生の大きな楽しみになること」
「死ぬまでに何をやるか（バケツリスト）を考え実行することの重要性」

をつくづく考えさせられました。

タイのシラチャは、西洋人のリゾート地パタヤの近くに立地し、日本の製造業を支える多くの工場戦士が駐在する世界でも稀な日本人比率の高い街です。そして「微笑みの国」タイのなかでも、特にシーフードが安くてうまい、また最高のゴルフや釣りを気楽に安心して楽しめる街でもあります。

私の80回を超えるプチ移住は、多くがゴルフ仲間のためのボランティアツアーガイドの履歴でもあります。一度行かれるとほとんどの人がリピーターになる、その魅力は何なのでしょう？

この街へのプチ移住を人生の最高の楽しみ方の一例として取り上げ、その魅力をお伝えできればと思います。

百聞は一見にしかず。本書を読まれたあと、ぜひ一度プチ移住をお試しください。